

2018年5月23日(水)

参加者：親子17組(子ども20人) スタッフ：3人

保育士：2人 院生2名

担当：村井ゼミ 学部生16名

内容：作って遊ぼう「お弁当を作ろう」

- ① 13:30 ~ お名前呼び(タンバリンを使って)
- ② 13:40 ~ 作って遊ぼう「お弁当」・マラカスで行進
- ③ 14:10 ~ 自由遊び
- ④ 14:40 ~ お帰りの手遊び(あんころもち)



プログラムとゼミ紹介(写真1)



お名前呼び(写真2)



お弁当の作り方説明中(写真3)



卵焼きコーナー(写真4)



美味しそうに完成!
(写真5)



紐むずびに挑戦!
(写真6)



できたよ!
(写真7)



マラカス振ってお散歩♪
(写真8)

大学3回生の学生たちによるプログラム「作って遊ぼう」を行いました。

「お弁当箱の歌♪」という手遊びを数回行った後、空のお弁当箱が配られ、子どもたちによるお弁当作りの開始です。子どもたちが行うのは、学生たちが事前に粘土などで作ったお弁当の中身をそれぞれのお弁当箱に盛り付けていくことです。準備されたおかずは、おにぎり・スパゲッティ・卵焼き・ハンバーグ・アスパラのベーコン巻き・プチトマトの6種類です。それぞれのおかずを種類ごとに並べたコーナーが6つ作られました。子どもたちは、それぞれのコーナーを順番にまわって行き、ひとつずつ自分でお弁当箱に詰めていきます。スパゲッティや卵焼きなどのお弁当の中身は、どれもみなきれいな色でリアルに作ってあり、子どもたちは真剣な表情で、しっかりと自分の手元を見ながらお弁当箱におかずを盛り付けていました。

紙粘土で作られたものは、もろく壊れやすいという注意点があります。崩れた小さなかけらを誤って口に入れないように、出来上がったお弁当箱には透明な蓋をし、その蓋の上から長いビニール紐を結びました(写真6)。子どもたちにとっては、指先を使って紐を結ぶのも楽しい挑戦です。主役の子どもたち自身が達成感を感じることができるよう、学生たちは手伝いすぎないように見守る姿勢中心に一緒に結んでいました。出来上がったお弁当箱を眺める満足そうな子どもたちの様子はとても愛らしく、母親たちの笑顔も多く見られました。

お弁当を作った後、紙コップで作ったマラカスが配られ、音楽をかけてマラカスを振りながら散歩の行進をしました。自分でお弁当を作った満足感からでしょうか、行進中の子どもたちの表情は明るいものでした。プログラム中も自由遊び中も、学生たちから積極的に子どもたちに話しかける様子が多く見られ、全体として明るい雰囲気の中で楽しむことができたようです。